

インフォシスと Roland-Garros は、テニスエコシステム向けの新しい AI パワード体験を提供することを発表

5年目の節目を迎えたこのパートナーシップによって、デジタルイノベーションの領域を押し広げ、テニスの未来を進める

パリ（フランス） – 2023年5月30日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーであるインフォシス（NSE, BSE, NYSE: INFY）は本日、フランステニス連盟（FFT）と新たなイノベーションを発表しました。このパートナーシップにより、テニスを革新し、新しい、よりスマートで没入感のある方法で進化させることができます。クラウド、AI、ミックスドリアリティ、データ分析などの技術を活用した革新により、ファンの関与が飛躍的に向上し、選手、コーチ、メディア、大会主催者、そしてテニスコミュニティ全体に力を与えることができます。

ファンエンゲージメント- ミックスドリアリティ（XR）と AI によるモーション解析によって強化

ファンは、新たな Infosys x Wilson Smash Corner at Roland Garros でプロ選手のようにサーブのスキルを練習し、計測することができます。高度なカメラを使用し、Infosys のテクノロジーは、個々のサーブをフィリップ・シャトリエコートに重ねて表示し、まるでメインコートでサーブしているかのような体験を提供します。参加者は、自身のポストチャーやパフォーマンスに関するカスタマイズされたサーブ分析とフィードバックも受け取り、テクニックを向上させるためのプロレベルの分析をファン一人ひとりに提供します。

さらに、Infosys は既存のマッチセンター機能の向上を推進し、RG ファンタジーゲームのパワーも継続します。また、Infosys テニスバーチャルリアリティエクスペリエンスでは、ファンを仮想ゲームの中心に置き、彼らにゲームのトップ選手との対戦の機会を提供します。

メディアエネイブルメント - 新たな興奮度評価ツール

Infosys の AI 支援ジャーナリズムツールに新たな分析機能が追加されました。これにより、メディアは試合会場からファンのいる家庭に向けて追跡と報道を行うことができます。このインサイト駆動のツールは、ジャーナリストがトーナメントに正確に報道するのを支援するために設計されており、試合の長さやスタジアムの観客の騒音など、複数の要素を認識して興奮度と緊張度を評価します。これにより、世界中のファンが試合の状況や雰囲気により身近に触れることができます。

選手パフォーマンス - パフォーマンス向上のための AI パワードツール

Infosys が 2019 年に RG で展開した AI ビデオという高度な試合戦略ツールは、選手の傾向などの新たなイノベーションによってさらに強化されました。このツールは、選手のファーストサーブ、セカンドサーブ、リターンを分析し、反応傾

向と勝率の正確な相関関係を提供します。また、「ゲットインザゾーン」という新機能も追加され、AI がカスタムビデオプレイリストを作成し、特定の対戦相手に対する勝利の傾向を読み込んで、試合前の選手のマインドセットに良い影響を与えます。

コミュニティエンゲージメント - 次世代へのインスピレーション

昨年の STEM プログラムの成功を受けて、Infosys の Springboard を活用したプログラムを展開し、Infosys と FFT は科学、技術、テニスに情熱を持つ子供たちを対象にしたユニークな 2 日間のプログラムを提供します。このプログラムは、スポーツと STEM の相互作用を探求することで、学生たちにインスピレーションを与えることを目指しています。

トーナメントの歴史 - 3D アートミュージアムにおけるヤニック・ノアルームの発表

[Infosys Roland-Garros 3D アートミュージアム](#)は、130 年にわたるトーナメントの歴史に捧げられたデジタル空間であり、1983 年のヤニック・ノアの歴史的なグランドスラム優勝から 40 年の節目を記念して、ヤニック・ノアルームを発表します。文化、スポーツ、テクノロジーを融合させたこの部屋には、3D の没入型展示物、ビデオウォール、そして新たな AR 体験があり、訪れた人々が拡張現実の体験でノアの勝利の瞬間を再体験することができます。

Infosys の EVP 兼最高マーケティング責任者である Sumit Virmani は、「5 年目を迎えるこのパートナーシップは、スポーツを変革し前進させ続けています。今年は Infosys Topaz の力により、AI ファーストのアプローチを採用し、ファン、メディア、そして選手に対して新たな方法で RG トーナメントを再構築するためのいくつかの新しいイノベーションが導入されました。スポーツの歴史に基づきながら、未来の世代をカブけ、インスピレーションを与えることができます。テクノロジーによる変革の進展の可能性に非常に興奮しており、Roland Garros が世界中の 10 億以上のスポーツファンにとって最もエキサイティングなグランドスラムの一つであることを継続しています」と述べています。

Roland-Garros のトーナメントディレクターである Amélie Mauresmo 氏 は、「Infosys は過去 5 年間、トーナメントの範囲を拡大し、ゲーム内のすべての人々に実際の価値をもたらしてきました。デジタルイノベーションパートナーとして、彼らはデジタルプラットフォームを活用して Roland-Garros の文化遺産を保持しながら、ゲームを新たな次元に導くことに焦点を当て、コート内外の人々と意味のある関わりを深めるのに役立ちました。私たちはテクノロジーを活用してトーナメントをより象徴的かつ革新的なものにするための手段を継続して見つけていこう」と述べています。

トーナメントは 2023 年 5 月 28 日から 2023 年 6 月 11 日まで開催されます。最新のデジタルイノベーションを体験するには、[Roland-Garros.com](https://roland-garros.com) を訪れてください。

パートナーシップの詳細については、[Infosys.com/Roland-Garros](https://infosys.com/Roland-Garros) をご覧ください。

ローランギャロスについて

スポーツファンや一般の人々にとって、ローランギャロスは見逃せないイベントです。2023 年のローランギャロス大会は、世界 223 国で放送され、このトーナメントが一流の国際スポーツイベントであることを確認しています。フランステニス連盟によって主催されるローランギャロスは、テニスの歴史で最も古く、高貴な表面の一つであるクレーで行われる唯一のグランドスラムトーナメントです。

インフォシスについて

インフォシスは、次世代のデジタルサービスとコンサルティングの世界的リーダーです。30 万人以上の従業員が、人々や企業、コミュニティの可能性を最大限に引き出し、次の機会を創造するために活動しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステムと運営の管理経験を持ち、クラウドを活用したデジタルトランスフォーメーションに乗るクライアントを 56 以上の国で専門的にサポートしています。AI によるコアを提供し、アジャイルなデジタルを規模化してビジネスを強化し、常に学習し続けることで持続的な改善を推進するために、デジタルスキルや知識、アイデアをイノベーションエコシステムから転送します。私たちは、多様な才能が包括的な職場で繁栄する、適切に統治され、環境に配慮した組織であることに深い責任を感じています。

www.infosys.com を訪れて、Infosys (NSE、BSE、NYSE: INFY) があなたの企業が次に進むためにどのようにお手伝いできるかをご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらは、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドと米国での人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2021 年会計年度（2022 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

詳細のお問い合わせ先：

インフォシス 東京オフィス

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com